

徳川家康と歴代将軍ゆかりの名宝

FUKUYAMA MUSEUM OF ART  
ふくやま美術館



重要文化財《洋時計》徳川家康所用

福山城博物館  
FUKUYAMA CASTLE MUSEUM

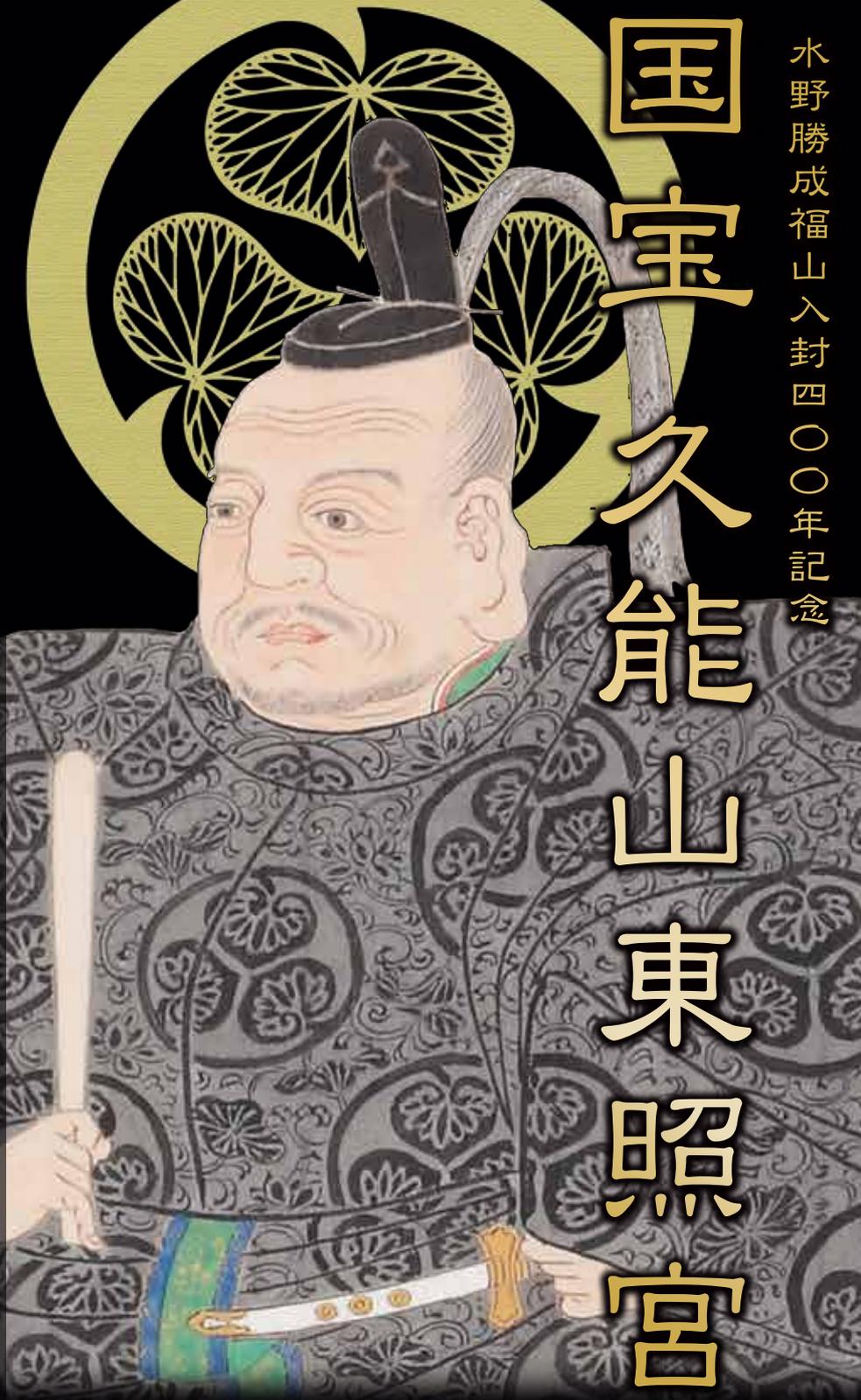


《紺絲威鎧》徳川吉宗所用

FUKUYAMA MUSEUM OF CALLIGRAPHY  
ふくやま書道美術館



《大字「静」》徳川慶喜



国宝 久能山東照宮

水野勝成福山入封四〇〇年記念

— 歴代将軍の名宝140点が福山へ —

福山城博物館／ふくやま美術館  
ふくやま書道美術館 **3館同時開催**

2019.9/21(土) ▶ 11/17(日)

おトクな3館共通券 **1,500円** (会期中いつでも使えます)

※3館共通券は、1枚で福山城博物館、ふくやま美術館、ふくやま書道美術館を観覧いただけるお得な共通券。会期中いつでもご利用可能。前売り券は無し。高校生以下無料。観覧料の減免・割引は各館ホームページでご確認、または各館までお問い合わせ下さい。

◆休館日：月曜日 ※9/23(月・祝)、10/14(月・祝)、11/4(月・休)は開館、9/24(火)、11/5(火)は休館 [3館共通]

◆開館時間／単館観覧料：福山城博物館 9:00～17:00/500円(400円)

※(内)は有料20名以上の団体  
 料金。高校生以下無料。 ふくやま美術館 9:30～17:00 ※11/8(金)、9(土)、15(金)、16(土)は19:00まで開館/1,100円(900円)  
 ふくやま書道美術館 10:00～19:00/500円(400円)

◆主催：(公財)ふくやま芸術文化財団 福山城博物館、ふくやま美術館、ふくやま書道美術館、福山市、中国新聞備後本社

◆特別協力：久能山東照宮、静岡鉄道株式会社

※所蔵：久能山東照宮博物館

# 国宝 久能山東照宮

静岡県中部の久能山山頂に鎮座する久能山東照宮は、徳川家康の遺命により建立された国内最古の東照宮です。本社には家康の遺品として、所用の武器や武具、晩年の愛用品、西洋諸国との外交を通じて得た舶来の品々が伝来し、また、歴代將軍遺愛の刀剣や書画などが寄進されてきました。

本展は、久能山東照宮博物館が所蔵するこれらの2,200点に上る宝物の中から、家康遺愛の品々を筆頭に、かつて江戸城内の紅葉山神庫および御具足蔵に保管されていた歴代將軍所用の甲冑や、国宝1口・重要文化財10口を含む奉納刀、將軍自筆の書画などの140点を、福山城博物館、ふくやま美術館、ふくやま書道美術館の3館に分けて展覧します。歴代將軍の威光の象徴でもある名宝の数々が一堂に会する、またとない機会をぜひお楽しみください。



◆観覧料 一般1,100円(900円)、高校生以下無料 ※( )内は有料20名以上の団体料金  
◆〒720-0067 広島県福山市西町二丁目4番3号【JR福山駅北口から西へ400m】  
◆TEL 084-932-2345 FAX 084-932-2347

## 第一章 久能山東照宮の開創

—神となった家康

## 第二章 徳川家康の遺愛品

### 第三章 - 1 歴代將軍ゆかりの武具

《太刀 銘 真恒》、《太刀 無銘 光世作》をはじめとする家康ゆかりの刀剣や、関ヶ原の合戦、大坂の陣に携行した《歯笏具足》、スペイン国王から贈られた《洋時計》など、国宝、重要文化財を中心に紹介します。



重要文化財《歯笏具足》  
徳川家康所用



国宝《太刀 銘 真恒》徳川秀忠寄進



《金扇馬標》徳川家康所用



重要文化財  
《目器》徳川家康所用



◆観覧料 一般500円(400円)、高校生以下無料 ※( )内は有料20名以上の団体料金  
◆〒720-0061 広島県福山市丸之内一丁目8番【JR福山駅北口より徒歩5分】  
◆TEL 084-922-2117 FAX 084-922-2126

### 第三章 - 2 歴代將軍ゆかりの武具

八代吉宗の下命により製作された《紺糸威鎧》や、十五代慶喜の一橋徳川家藩主時代からの召料と伝えられる《卯花威胴丸》など、歴代の將軍たちが身につけた精緻な技巧による甲冑類を中心に、その威厳にあふれた世界をご堪能いただけます。



《卯花威胴丸》徳川慶喜所用



《筒袖陣羽織 紫羅紗地三葉葵紋葵字 切りはめ》徳川家茂所用



《馬面》徳川家茂所用



◆観覧料 一般500円(400円)、高校生以下無料 ※( )内は有料20名以上の団体料金  
◆〒720-0067 広島県福山市西町一丁目1番1号 エフビコRiM 8階【JR福山駅南口から西へ約600m】  
◆TEL 084-925-9222 FAX 084-925-9223

## 第四章 將軍の文芸と教養

—自筆の書画にみる

將軍たちの素顔

茶の湯や学問を愛好する文化人でもあった家康による書画には、筆線の強さとともに武将ならではの厳格さと大らかさを垣間見ることができます。こうした將軍たちの教養の高さを、自筆の書画などから浮き彫りにします。



《判金請取状》徳川家康



《枯木象図》徳川家光



《二大字「誠實」》徳川綱吉

—徳川家康と歴代將軍ゆかりの名宝

### 関連催事

#### ●講演会「徳川家康公と久能山東照宮」

講師/落合偉洲氏(久能山東照宮宮司・久能山東照宮博物館館長)

日時/9月21日(土) 開場 12:30 開演 13:30

会場/ふくやま美術館1階 ホール

定員/150名(先着順・聴講無料)

#### ●ギャラリートーク 各会場の見どころを分かりやすく解説。※要観覧券

会場(担当者)	前期【9/21(土)~10/20(日)】	後期【10/22(火)~11/17(日)】
福山城博物館 展示室(同館学芸員)	9/29(日) 14:00~	10/27(日) 14:00~
ふくやま美術館 企画展示室(同館館長 原田一敏)	10/6(日) 14:00~	11/10(日) 14:00~
ふくやま書道美術館 企画展示室(同館副館長 中川公二・同館学芸員)	10/20(日) 14:00~	
		11/4(月・休) 14:00~



重要文化財《太刀 無銘 光世作》徳川家康所用

※所蔵：久能山東照宮博物館